

科目名称(Course Title)				担当教員 (Instructor)	
企業論				平野 真	
開講学期 (Semester)	単位数 (Credits)	履修年次 (Requirement)	授業形態 (Class Type)	受講定員の有無 (Maximum Enrollment)	授業公開 (Workshop Class)
前学期	2単位	1年次	講義	無	科目等履修・聴講
授業の概要(Course Description)					
<p>企業とはどのような考えのもとに、どのように運営されているのでしょうか？本科目では、現代の企業経営を理解するため、1) 経営哲学、2) 事業分野・事業内容、3) 事業規模と発展段階、4) 産業構造や社会での位置付け、という4つの観点から、分析を行います。より具体的には、1) 事業の発展性と継続性のバランスの取り方、2) 事業内容に依存した経営手法の違い、3) 事業の規模や発展段階に応じた組織運営の違い、4) 産業構造や地域社会の中で果たす役割などを学習し、これらの因子の違いから実際の企業がどのように運営されているか理解することを目的とします。前半の授業では理論的な学習を行い、ケース課題の分析を通じて理解を深めます。後半の授業では現実の企業をチームで調査・分析することを通じて、さらに企業への理解力・分析力を養います。なお授業の進め方や評価手法については、多少の変更を行うことがあります。</p>					
授業の到達目標(Course Objectives)					
<p>1)経営哲学の違いにより現実の企業経営がどのように影響を受けるかについて説明し、具体的な事例を挙げる事ができる。2)事業分野や事業内容の違いによる企業経営の在り方の違いを例をあげて説明できる、3) 事業の規模や発展段階の違いによる組織運営の違いを説明できる、4) 産業構造や社会の中で果たす役割と企業経営の最適性について、自分の考えを述べられる。</p>					
授業計画(Course Schedule)					
第 1 回	オリエンテーション、第一部企業経営の基礎 (1) 企業とは？				
第 2 回	第一部企業経営の基礎 (2) 経営の基礎：分業と分配				
第 3 回	第一部企業経営の基礎 (3) 経営哲学：発展か継続か、ベンチャー型と老舗型				
第 4 回	第一部企業経営の基礎 (4) 事業分野と事業内容：産業特質と製品寿命				
第 5 回	第一部企業経営の基礎 (5) 事業規模と事業の発展：企業の成長と課題				
第 6 回	第一部企業経営の基礎 (6) 価値の体系と産業構造：垂直統合と水平分業、				
第 7 回	第一部企業経営の基礎 (7) 産業構造の変容：製造業からサービス業へ、				
第 8 回	第一部企業経営の基礎 (8) 地域社会と企業：産業集積、協働、企業文化				
第 9 回	第一部の復習とまとめ				
第 10 回	中間テストによる知識確認				
第 11 回	第二部企業分析 WSチーム分けとテーマの選択				
第 12 回	第二部企業分析 WS作業と発表準備				
第 13 回	第二部企業分析 WS発表会 1				
第 14 回	第二部企業分析 WS発表会 2				
第 15 回	総復習とまとめ				
授業時間外学習(Supplementary Activities)					
<p>前半は毎回、次回の予習を兼ねた事例分析などを宿題として課す。しかし授業で特に重要なのは復習である。授業で学習した内容がよく理解できない場合は、必ず次回に質問して理解を深めるようにする。途中で理解を確認するテストがあるので、この準備をすることを通じ、忘れないうちに学習した知識を整理すること。後半は、チームごとに、主体的に調査や分析、発表の準備を行う。</p>					

成績評価の方法と基準(Grading)	
評価方法 (割合)	評価基準
宿題や授業中の発言など (20%) 中間テスト (20%) チーム発表 (20%) 最終テストまたはレポート (40%)	秀：適切に問題点を指摘し、特筆すべき鋭い分析や考察ができ、現実的な解決策を提示できる 優：授業で学習したことを良く理解でき指摘した問題点に対し適切な解決策を提示できる 良：授業で学習した内容を基本的には理解でき、指摘した問題点に対し解決策を提示できる 可：授業内容の理解、問題点の指摘と解決策の提示が、最低限の水準を満たしている 不可：授業の内容が理解できておらず、問題点や解決策の提示ができない、あるいは3分の1を超えて欠席した
テキスト (Textbook)	【書名】 【著者】 【出版社】 【出版年】 授業で配布するレジユメを中心に行う。
参考書・資料等 (Supplementary Reading)	経営能力開発センター編「経営学検定試験公式テキスト1」中央経済社（就職対策として、資格の取得に興味のある人に役立つ。） 基本的には、講義のレジユメの中で、参考文献を紹介する。
備考 (Other Information)	3分の1以上（6回以上）の欠席は、単位不可とする
教員との連絡方法 (Contact With Instructor)	メール連絡 hirano-makoto@fukuchiyama.ac.jp